2024 (*	令和6)年度の教育活動等に対する学校評価	2025年3月1日現在
		学校法人堀口学園
		幼保連携型認定こども
1. 教育・保育の	の方針と目標	
	ごものあらゆる可能性の開花をめざして~	
昭苑こども園は	t学校法人堀口学園の創設理念である「神を愛し、自然を愛し、人間を愛する」というキリスト教精神と、「自分が神に愛されるように、あなたもあな	
たの隣人を愛し	なさい」と聖書に記された隣人愛の教えを継承しつつ、モンテッソーリ保育を取り入れ、幼保連携型認定こども園の教育保育要領に則り、乳幼児の	
達成課題を年齢	<b>齢別・発達段階別に編成した保育プランやカリキュラムを日々の教育・保育の中で実践していきます。</b>	
~こんな子ども	を育てたい:心あそび、カラダよろこぶ昭苑こども園の子どもたち~	
5つのH(Health	h, Hand, Head, Heart, Harmony)を大切に、歌って踊っていつも元気な子、何にでも興味をもつ一生懸命な子、人の気持ちがわかるやさしい子、個性豊。	い子
2. 2024年度 <i>0</i>	の重点課題(事業計画)	
I 保 育	①認定こども園として質の高い教育保育について再確認する	
Ⅱ組織運営	②定員を満たす園児数を確保する	
Ⅲ人 事	③教職員の育成定着を図る	
Ⅳ 施 設	④教育保育の環境を充実させる	
Ⅴその他	⑤施設内の連携強化によりインクルーシブな子育て支援の総合力を高める	
3. 自己評価結	果とそれに対する学校関係者評価結果	
評価はS(90点以	J上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上:合格ライン)、D(50点以上)、E(50点未満:手つかず項目)の6段階とし、D 以下の	
項目は次年度0	の課題として必ず繰り越すものとする。評価にあたっては教職員の個人的な解釈に左右されないように、園としてのルーブリック(評価の指針)を示	
し、それを参考し	に自己評価を実施する。→その項目の評価結果	
	→C以下の項目(次年度課題)	

	重点課題			自己評価(昭苑こども園)				学校関係者評価									
評価項目		具体的取組	=π /±	=			- じょ 国 ロ マのこかに細語	=π /==		0/							
 !育	① 部 中 − 12 + 国	タンサナナ 日本のサナナ	評1四		かためのルーブリック(指針)	%	こども園としての反省と課題	評価	S	% 100	学校関係者の所見とアドバイス						
Ħ	①認定こども園 として質の高い	<ul><li>保育の基本を 再確認する</li></ul>		S	保育の基本の再確認で特筆すべきことがある	38.9	・新学期研修や保育療育連携会議等で、		A	100	NAME OF BUILDINGS						
	教育保育につい て再確認する				保育の基本の再確認が日常的に実践されている		インクルーシブな保育について基本を確認		В	0	01221-121110000						
	CTTREBUTY O		Α	В	保育の基本の再確認について周知されている	33.3	できた。   【課題】	s	С	0	1370707070 13 13 1						
				_	保育の基本の再確認について学びの場があった	0	1			_	] 柳貝町隊ひていることを固と文心						
				D E	園として取り組みが不十分 園として取り組めていない	0	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	D E	0	・法人の特色として発信をたくさんして頂きたい						
		到旧林の旧本		<del>                                     </del>		<del></del>	・子ども観、子ども評価についての研修	-	_	0							
		・乳児棟の保育の見直しを図る		S	乳児棟の保育の見直しにおいて特筆すべきことがある	5.6			S	0	IN EN ENTERINE						
			В	A	乳児棟の保育方法や保育環境に大きな改善があった	5.6	に招き、4月~11月に7回の指導を受け、	_	A	44.4							
				В	乳児棟の保育方法や保育環境の改善に取り組めた	44.4	7. 7	В	В	55.6							
				С	乳児棟の保育方法や保育環境について見直す機会があった	38.9	」 展開するコーナーを新設した。	_	С	0	]						
				D E	園として取り組みが不十分   園として取り組めていない		.6 【課題】  0 ・見直しの継続と姉妹園の乳児保育室の見学		D E	0	カイエカーの神色が出力であるが出ることがかります。						
					1	<del></del>		-			1						
		乳児棟と幼児棟の一体的運営に		S	乳児棟と幼児棟の一体的運営が推進された	5.6		_	S		・さらなる連携を図り具現化をして頂ければ						
		より、さらなる連 携を図る		A	乳児棟と幼児棟の一体的運営に改善が見られた	33.3	体制に2学期から切り替えた。		A	14.3							
		155 C E O	С	В	乳児棟と幼児棟の一体的運営に取り組めた	22.2	・棟の垣根を超えて補助し合うことができて	- B ⊢	В	57.1	【課題】						
				С	乳児棟と幼児棟の一体的運営について考える機会があった	38.9	0 【課題】		С	28.6	J XIEREMONINC CHARLES GIVE						
				D	園として取り組みが不十分			D	0	る方向での改善がで来るとよい							
				E	園として取り組めていない	0	・こども園全体の定員変更計画の推進		E	-	・人員確保、職員の定着を期待します。						
織運営	②定員を満たす 園児数を確保す	・途中入園児の獲得(乳児一時預かり保育の改善、ぴよぴよみを変から満3歳入	時 )改 数	S	この項目で特筆すべき点がある	_	・満3歳もも組は2月までに6名確保を達成した		S	0	【課題】						
	るの数と唯体す			Α	途中入園児で定員に近い園児数になった	22.2	・乳児は保育教諭が確保できず、特にO歳児は		Α	33.1	・職員確保難しいが努力して欲しい						
				В	途中入園児で定員を満たした学年があった	5.6	· · · · · · · · · · · · · · · ·	С	В	11.1	・町がもう少し協力的だといいと思う						
		園の継続)		С	途中入園児を獲得できた	66.7	【課題】		С	56.6	・新規職員を確保し入園希望者のニーズに答え						
										D	園として取り組みが不十分	5.6	・新規職員の確保		D	0	で欲しい。
				Е	園として取り組めていない	0	・職員が共に成長できる職場環境を整える		E	0	<ul><li>こそだてルーム園と独立したイメージある。</li></ul>						
		・次年度の園児		S	この項目で特筆すべきことがある	0	・インスタグラムやフェイスブックを活用して		S	0	・園の魅力、強みがたくさんあるのでうまく良さ						
		募集において SNSを活用し、		Α	SNSを通じて、園の魅力を外部にアピールできた	33.3	日々の保育や行事の様子を発信できている。		Α	50	が広がればいい。						
		園の魅力をア	В	В	外部にアピーするべき園の魅力がはっきりしてきた	44.4	<ul><li>・見学者はホームページやインスタを見ている。</li></ul>	_	В	37.5	・ママ友、卒園OB,OGの活用も視野に口コミ有効						
		ピールする	-	С	外部にアピールするべき園の魅力について考えた	16.7	【課題】	A	С	12.5	【課題】						
					D	園として取り組みが不十分	5.6	6・発信時期や学年のムラを解消する		D	0	・インスタ更新低く、クラスによって偏りがある					
				Е	園として取り組めていない	0	・園の魅力や強みをアピールする工夫		E	0	・就園前に直接話が効ける機会があるとよいと思う						
人事労務	③職員の育成・	・全園的にシフト		S	この項目で特筆すべき点がある	5.6	・乳児棟と幼児棟のシフト表を合体作成した。		S	0	・乳児、幼児だけでなく違う先生と話す機会増えた						
	定着を図る	体制の見直しを図る		Α	全園的なシフトの見直しを図られた	33.3			Α		・目で見える形で示されたことで臨機応変の						
				В	一部シフトの見直しが図られた	11.1	に対応した。		В	12.5							
			С	С	シフトの見直しについて試行錯誤して取り組んだ	38.9	【課題】	С	С	50	11 - 1						
				D	園として取り組みが不十分	11.1			D	0	・人員確保大が一番の課題。保護者として協力						
		・職員行動指針を通して「働きが		E	園として取り組めていない	0	・保育教諭増員による負担軽減		E	0							
				S	職員行動指針の内容と働きがいについて共通理解が図られた	11.1	・日々の朝礼や会議のはじめに職員行動指針を		S	25	・職員の働き甲斐で子どもの笑顔が増えているよ						
				Α	職員行動指針の内容と働きがいについて理解が深まった	33.3	皆で声を出して朗読し、園長先生の解説等で		Α	50							
		い」の共通理解 を深める		В	職員行動指針の内容と働きがいについて部分的に理解できた	27.8	理解を深めている。		В		【課題】						
			Α	C	職員行動指針の内容と働きがいについて考える機会があった	22.2		Α	C	0							
				D	園として取り組みが不十分	5.6	I REPORT A		D	0	1						
				E	園として取り組めていない	0.0	- 主体周知・00取り組の		E		・職員の心の裕も大切に。						
		JCT: 7=1 0		S			│ ・二法人合同デジタル委員会でICT化に向けて		S	<del></del>	【課題】						
		・ICTシステムの 導入検討により 職員の情報共有 システムの再構 築を模索する			職員の情報共有システムの再構築について特筆すべき点がある	22.2			A								
				A	職員の情報共有システムの再構築について計画が進んでいる						・より簡単、かつ負担軽減がなされるよう						
			С		職員の情報共有システムの再構築について導入検討がされた		次年度以降の導入準備を進めている。	С	В	28.6	早期実現に期待。導入望みます。						
				С	職員の情報共有システムの再構築について考える機会があった		50 【課題】 5.6 ・職員同士の情報共有		С	57.1	1						
				D	園として取り組みが不十分	_			D	0							
							_	園として取り組めていない	_	・勤務時間外における連絡のルール作り		E					
色設	④教育保育の環 境を充実させる	・園内美化を推 進する	Ĕ   .	S	この項目で特筆すべき点がある		・「一日一掃除」のポスターを掲示し、園内美化		S		・見えない努力に感謝する						
		進9句					A	園内美化が全園的に実践された	33.3		-[	A		【課題】			
				В	園内美化が部分的に実践された	_	・人や部署ごとに取り組み方に差がある。	Α	В		・取り組みに差がある。						
					_	園内美化に取り組む機会があった	_	【課題】	1	С	11.1	1					
				D	園として取り組みが不十分	_	・園内美化の継続		D	0							
				Е	園として取り組めていない	_	・園内美化の目的の周知		E	0	・定期的にプロの要請をする機会を持ってはどう						
		・総合施設としての関係のありま		S	この項目で特筆すべき点がある	_	・姉妹園の園庭作りをお手本に考える機会を		S	0	・再構築楽しみ						
		の園庭のあり方を再考し、改善計画の作成に取		Α	園庭の再構成についての計画の方向性が見えてきた	11.1	持っている。		Α	12.5	・生き物好きの子多い、ビオトープ良いかも						
		計画の作成に取り組む	С	В	園庭の再構成についての話し合いに参加した	5.6	【課題】	С	В	12.5	・子どもにとってわくわくの内容の取り組み、						
				С	園庭の再構築について考える機会があった	77.8	・今後の保育のあり方についての話し合い		С	75	活性化に期待する						
				D	園として取り組みが不十分	5.6	・実際の計画作成		D	0	・良いものを長く使ってほしい、使用不可なら						
				Е	園として取り組めていない	0			Е	0							
Vその他	⑤施設内の連	法人内連携会議		S	この項目について特筆すべき点がある	22.2	・エール職員が午前中に保育室に入って療育を		S	22.2	・子どもたちの対応のすごさの驚いた。昭苑の						
	推強化によりイ	を诵して、全部門		Α	インクルーシブな子育でを支える環境が法人内で広がった	44.4			Α	78.8							
	フグルーシブな 子育て支援の	でインクルーシブな子育て支援に		В	インクルーシブな子育でを支える環境作りに取り組んだ	_	・配慮が必要な子への理解や思いやりのある子		В	0	・昭苑のアピールすべきインクルーシブ、運営						
	総合力を高める	ついて連携して 取り組む	て連携して A 組む A	^ [	C	インクルーシブな子育でを支える環境について理解した	22.2		Α	С	n	安心できる					
					D	団として取り組みが不十分		【課題】	1	D	0						
					園として取り組みが不干分 園として取り組めていない	_	【課題】  ・長時間預かりのエール利用者への対応	+	E		- 十州×川の依玄が守りれること作息我に感しる						
		地域に向けて昭 苑グループのイ		<del></del>		_		-									
			iiけて昭   -プのイ	S	この項目について特筆すべき点がある		・酒々井町と八街市の自立支援協議会にメンバー	_	S		【課題】						
		苑グループのインクルーシブな スタイナビの活		A	地域アピールの実践に積極的に進んだ	33.3		-	A	88.9	2011 - D 20 211 - C 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20						
		子育て支援の活 動をアピールし、	A	В	地域へのアピールを具体的に実行した	22.2		А	В		・就園を考える保護者向けアピールを増やしてい						
		理解を図る		С	地域へのアピールについてわずかながら前進があった	27.8	【課題】	1 .,	С	0	く必要感じる						
	1	1	I	D	園として取り組みが不十分	0	<ul><li>各部門からのインクルーシブな子育てをする</li></ul>		D	0	・地域の人材を積極的に活用						
			l	-				_	Е								

	シクルーシブな 子育て支援の活 動をアピールし、 理解を図る	Ā	1 1	Α	地域アピールの実践に積極的に進んだ	33.3	として園職員が参加し、地域の行政や他団体と		Α	88.9	・近隣、地域の団体との連携必要かと感じる。	
			B 地	B 地域へのアピールを具体的に実行した C 地域へのアピールについてわずかながら前進があった D 園として取り組みが不十分 E 園として取り組めていない	22.2	.2 も連携を深めている。   (課題]   (課題)   ( ・各部門からのインクルーシブな子育でをする		В	11.1	・就園を考える保護者向けアピールを増やしてい		
			С					С	0	く必要感じる		
			D					D	0	・地域の人材を積極的に活用		
			E			昭苑グループの良さを発信する		Е	0	・ニーズがあること、他市町村にもアピールを!		
<b>力 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>												
●自己評価取りまとめ担当者:			総評	・例年に比べ、委員の皆様ご自身で評価をして頂けていること感じました。								
園 長 堀口義也						・地域、行政との連携について感じている方多くありまし	<b>」た。</b>					
主幹保育教諭 喜多山文子				保護者の協力や地域ボランティアを募ってはとの意見がありました。								
						・インクルーシブ保育に関して皆さんの意識が高く昭苑	こども園に	ことっての	強みと原	感じている。		
●学校関係者評価委員:				その強みをもっと外に発信していけるように取り組む方法を考える。								
幼児組保護者 戸田舞(2024年)	切児組保護者 戸田舞(2024年度連絡委員会会長・幼児組保護者代表)				・園のことのアピールはSNSより直接聞ける場を設けること必要。情報が少ないと感じる。							
乳児組保護者 林美香(2024年)	<b>变連絡委員会副会長</b> ・	乳児組	保護	者代表)		・地域に開かれた園になって欲しい。災害の時にも人が集まれる場になって欲しいという声も聞かれました。						
学校法人堀口学園評議員(卒園)	見)日笠智一											
地域住民 溝口享(東酒々井1·3丁目自治会会長)												
地域住民 和田菜穂子(酒々井町民生委員)												
青少年健全育成関係団体代表	小早稲美穂(卒園児、	元連絡	委員会	会会長)								
接続校の教職員 戸谷友紀(小学	校教諭)											
その他の学校関係者 朝日未夏(小学校教諭)、												
松田裕児(成田市社会福祉協議会)												
太田礼-	子(社会福祉法人愛の	園福祉	会マ	リヤこども園 園長)								